

# THE NARASHINO CHUO ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

## 習志野中央ロータリークラブ週報

会 長 井上 大輔  
幹 事 寺田 良一

例会日：木曜日 12 時 30 分

例会会場：習志野商工会議所会館 3F

事務局：千葉県習志野市津田沼 4-11-14

2026-27 年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

「Create Lasting Impact」 持続可能なインパクト生み出そう

第 1824 回 2026 年 8 月 20 日 例会

司会：金子 友之

週報：松村 洋平・山崎 由美

- ◆ 点 鐘 会長 井上 大輔
- ◆ ロータリーソング 「我等の生業」
- ◆ お客様紹介  
千葉南 RC 会員 國友 英治  
習志野 RC 会長 杉山 芳夫  
幹事 富 昭浩



### ◆ 会長挨拶 会長 井上 大輔

皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。習志野 RC の杉山会長、富幹事、千葉南 RC 國友様、ようこそいらっしゃいました。今日は楽しんでいってください。

はじめに、先週 8 月 13 日から 14 日にかけて、千葉県内は記録的な豪雨に見舞われ、各地で浸水や冠水など、大きな被害が発生しました。被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。会員の皆さまの中にも、ご自身はもちろん、ご家族や従業員の方々、またお取引先などが被害を受けられた方もいらっしゃるかもしれません。まだ復旧の途中で、ご苦労されている方もいらっしゃると思います。また、この豪雨は、私たちにとっても決して他人事ではありません。被災された皆さまが一日も早く、安心した生活を取り戻されますことを、心よりお祈り申し上げます。

本日の会長挨拶に移らせていただきます。8/8 に地区の危機管理セミナーに三田地区アクト委員、小菅青少年奉仕委員長と参加してきましたので、今日はその中から、私たちのクラブ活動に関係する重要なポイントを 3 つだけ共有したいと思います。

一つ目は、ハラスメントに対する意識を、時代に合わせてアップデートすることです。今の時代、「そんなつもりはなかった」「親しみを込めて言った」「昔は普通だった」ということだけでは済まないケースがあります。特にセクハラについては、身体的な接触だけではなく、しつこく食事や飲み誘うこと、結婚や恋愛などプライベートなことを過度に聞くこと、外見や身体について発言することなどにも注意が必要です。判断に迷ったときには、「自分の家族が同じことをされたらどう感じるだろう」と考えてみるのが一つの基準になるという話がありました。

また、ロータリーには「ハイとイエス」という言葉があります。もちろん、これはロータリアンとしての前向きな姿勢を表す言葉だと思います。ただし、「ロータリーなんだから、ハイと言ってやるのが当然だ」というように、先輩・後輩や役職などの立場を利用して、人に押し付けるものではないということです。「ハイとイエス」は、あくまで自分自身の心構えとして考える。これは私自身も気を付けたいと思いました。

二つ目は、青少年を守ることです。米山奨学生やローターアクト、そして私たちの事業に参加する子どもた

ちなど、青少年と関わる機会があります。その際には、特に「1対1の密室をつくらない」ことが大切です。例えば、送迎の車の中や個室など、周囲から見えない場所で青少年と1対1になることは避ける。また、身体的な接触や外見についての発言、お酒の席での関わり方などにも十分注意する必要があります。さらに、青少年の様子に変化があった場合にも注意が必要です。体調不良や欠席などが続いている場合、「ホームシックかな」「疲れているのかな」と簡単に片付けるのではなく、気になることがあれば、カウンセラーやクラブに早めに共有することが大切だということでした。

三つ目が、万が一、何か問題が起きた場合の対応です。一番大切なのは、「見て見ぬふりをしない」「うやむやにしない」ということです。相談を受けたときに、「そのくらい大したことないよ」「気にしすぎじゃない？」と終わらせてしまうのではなく、まず本人の話をきちんと聞く。そして、自分一人で判断せず、クラブの役員や地区など、適切なところにつなぐことが重要です。特に青少年に関するハラスメント、事故、法的トラブル、虐待などについては、認識した時点から72時間以内にRIへ報告するルールがあるということでした。ですから、「もう少し様子を見よう」と先延ばしにせず、何かあれば早めにクラブ、そして地区へ相談することが大切です。

今回のセミナーを受けて私が感じたのは、危機管理というのは、誰かを監視したり何かを禁止したりするためのものではないということです。みんなが安心して、気持ちよくロータリー活動をするためのものです。そして、これは会員増強や退会防止にもつながると思います。新しく入った会員が「このクラブなら安心して活動できる」と思える。そして、今いる会員が「このクラブに入っていて良かった」と思える。そんなクラブをつくっていくことが大切だと思います。

さて、本日はもう一つ、今年度の新しい取り組みであるダバオ衣料品支援事業について、卓話で具体的な計画をお話しいただきます。習志野中央ロータリークラブでは、長く国際奉仕活動を行っていませんでしたが、今年度はロータリーらしい国際奉仕をもう一度始めたいという思いから、この事業に取り組むことになりました。河手奉仕プロジェクト委員長がこれまで個人的に続けてこられた衣料品支援を、今回はクラブの活動として、現地のロータリークラブとも協力しながら、必要としている方々に届けていきたいと考えています。本日の卓話では、ダバオ衣料品支援事業について具体的な説明がありますので、ぜひ皆さんにも関心を持って聞いていただき、多くの会員の皆さんに参加していただければと思います。

#### ◆ 幹事報告 幹事 寺田 良一

奉仕プロジェクト統括委員会より、8月29日開催の奉仕プロジェクトセミナーご参加の方にご連絡です。当日はポートアリーナにてバスケットの試合があり地下駐車場は満車になる可能性がございます。近隣のコインパーキングも同様になりますので、千葉市役所駐車場をご活用ください。

#### ◆ 挨拶

□習志野ロータリークラブ 会長 杉山 芳夫

昨日は、当クラブ親睦会に井上会長並びに河手会員ご夫妻にお越しいただきありがとうございました。

今回私は会長が2回目ですが、お受けした経緯は次の時代につなげることです。時代に合ったクラブを目標としています。これからもよろしくお願いいたします。



□習志野ロータリークラブ 幹事 富 昭浩

皆様こんにちは。美味しいお弁当ごちそうさまでした。習志野RCからお邪魔させていただきました幹事の富 昭浩です。井上会長、河手さん、昨日は当クラブの「ワリンワリンRC交流懇親会」にご参加いただきありがとうございました。私の事業は習志野シティフットボールクラブ（株）です。習志野でサッカー

を通しての社会貢献・奉仕活動をさせていただいております。お世話になっている方々に感謝申し上げます。今日は色々勉強させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

#### □千葉南ロータリークラブ 会員 國友 英治

津田沼6丁目で習志野シティ鍼灸院を運営しています國友です。8月13日の千葉豪雨で50cm程度の床上浸水の被害に合い、その際同志のロータリアン三代川さんに市役所との調整などご尽力頂きありがとうございました。井上会長はじめ習志野中央RCの皆様との交流も引き続きよろしくお願いいたします。

#### ◆ ロータリー米山記念奨学会 感謝状

米山功労者 第9回 三田 英志

第8回 伊東 弘樹



#### ◆ 卓 話 奉仕プロジェクト委員長 河手 正直

#### 習志野中央ロータリークラブ 例会説明用資料

#### 国際奉仕「ダバオ衣料品支援プロジェクト」補足説明 兼 発表原稿（5分版）

会員の皆様、奉仕プロジェクト委員会 委員長の河手正直です。本日の例会のお時間をいただき、感謝申し上げます。

去る8月15日、当クラブの今年度国際奉仕事業であります『フィリピン・ダバオ市 衣料品支援プロジェクト』の事前協議のため、現地ダバオ市を直接訪問してまいりました。本日はその訪問成果と、現地でのパートナーとなる『Rotary Club of Matina Davao』について、詳しくご報告申し上げます。

まず背景といたしまして、今年度の習志野中央ロータリークラブは、井上会長のテーマ『Lead with Heart — 心ある行動が、未来を変える —』のもと、単なる物資の寄付にとどまらず、心と心が通い合い、相手国の人々に本当に喜んでいただける持続可能な奉仕活動を目指しております。

その具体的な第一歩として、8月15日にマティナ・ダバオ・ロータリークラブが開催された『特別例会・親睦夕食会』にお招きいただき、参加してまいりました。当日は、パスト会長のエドウィン・カヤマダ氏をはじめ、多くの役員・会員の皆様に大変温かい歓迎をいただきました。

その席上にて、習志野中央ロータリークラブの井上会長からの正式な協力要請文書、すなわち親書を、マティナ・ダバオRCのIsabelo P. Sedano 会長へ直接お渡しいたしました。当クラブの理念と『心ある行動』の意図をお伝えしたところ、同クラブの役員皆様から深い共感と全面的なご賛同をいただくことができました。そして、本プロジェクトを単なる一方的な支援ではなく、両クラブが対等な『共同プロジェクトパートナー (Co-Project Partners)』として力を合わせて推進していくことで正式に合意・快諾を得ることができました。

ここで、今回パートナーシップを結びます『Rotary Club of Matina Davao』について少しご紹介させていただきます。マティナ・ダバオRCは、フィリピン第3の都市ダバオ市を拠点とする国際ロータリー第3860地区のクラブです。非常に活気があり、地域社会に密着した奉仕活動を精力的に展開されています。

具体的には、地元の小学校や幼稚園での児童向け給食支援（Feeding Program）や学用品の配布、チャリティゴルフやマラソンを通じたポリオ根絶運動、さらには沿岸警備隊補助隊と連携したマングローブの植樹活動など、多岐にわたる実績と強い実行力を備えた素晴らしいクラブです。

私たちが日本で会員の皆様からお預かりする温かいリユース衣料品を、現地で真に必要としている子どもたちやご家庭へ確実に届けるためには、現地のリアルなニーズを熟知している彼らの存在が不可欠です。今回の合意により、マティナ・ダバオ RC は、支援が必要な地域の選定から、現地到着後の通関サポート、配給ルートの確保、そして 11 月に予定している合同配布セレモニーの実務手配までを全面的にバックアップしてくれることとなっております。

今後のスケジュール方針といたしましては、まず 8 月から 9 月にかけて、会員の皆様やご関係先から状態の良いリユース衣料品を集荷・検品・梱包してまいります。そして 10 月上旬に当クラブの自主財源にてフィリピン・ダバオへ発送し、11 月頃に現地にてマティナ・ダバオ RC および現地提携組織と共に支援物資の合同配布活動を行う予定でございます。

国境を越えたロータリアン同士の強い絆と友情を第一歩として、今後も両クラブで持続可能な国際協力の可能性を広げてまいりたいと考えております。

8 月・9 月の衣料品集荷におきましては、会員の皆様のご理解と全面的なご協力が不可欠となります。ぜひ温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。」

#### 【質疑応答・補足メモ】

##### Q. 輸送費や現地費用はどのように賄うのか？

A. 当クラブ単独案件として自主財源にて手配（10 月上旬発送予定）。現地での受入・配布実務は相手クラブおよび現地提携組織（H&3J Co., Ltd. 等）がサポートします。

##### Q. なぜ Matina Davao RC を選んだのか？

A. パスト会長のエドウィン・カヤマダ氏らのご協力のもと、地域密着型で教育・子ども支援や医療支援の実績が非常に豊富であり、物資を真に必要な人々へ透明性高く届ける能力を備えているためです。



#### — ダバオ衣料品支援事業 送りたいリスト —

- ・Tシャツ
- ・夏物衣服(上着 ズボン スカート Yシャツ等)
- ・夏以外の衣服(スーツ 薄手のジャンパー)
- ・靴 (スニーカー 革靴 サンダル)
- ・タオル (社名入り可)
- ・ベルト ・ネクタイ ・スカーフ

#### — ダバオ衣料品支援事業 ご遠慮願いたいリスト —

- ・ダウンジャケット等 真冬用 ・ハイヒール

**\*衣類はクリーニング不要です**

**\*多少の汚れ、シミは問題ありません**

#### ◆ 出席委員会 荒木 和幸

| 会員数 | 出席免除 | 当日出席 | メイクアップ | 出席 | 欠席 | 出席率    |
|-----|------|------|--------|----|----|--------|
| 46  | 1    | 27   | 2      | 29 | 16 | 64.44% |